

2024 年度学力試験問題の  
「出題意図」・「解答例」・「評価ポイント」について

数 学 【昼間コース 一般選抜：前期日程】

大学入学共通テストではみることができない，問題解決にいたるプロセスをみることに主眼を置いている。ただし，記述式文章題のみではバランスを欠く恐れがあるので，穴埋め問題も配置している。

	出題の意図または解答例	評価ポイント
I 一群・二群共通	(解答例) (a) $1 - i, -\frac{1}{2}$ (b) $\left(\frac{5 + \sqrt{7}}{2}, \frac{5 - \sqrt{7}}{2}\right),$ $\left(\frac{5 - \sqrt{7}}{2}, \frac{5 + \sqrt{7}}{2}\right)$ (c) $-6 < a \leq -3, 1 \leq a < 2$	穴埋め問題であるので，結論のみで評価した。
II 一群・二群共通	(出題の意図) 二項定理，組合せの数および数列に関する基礎的能力および応用力をみる。  ※本問題では，結論に至る過程や途中計算を書く必要がある。結論が合っても思考過程や途中計算が正しいと判断できない場合，正解とまらないことがある。	(1) 二項定理を用いて展開式の係数を正しく求められるかをみた。 (2) 隣り合う係数の比の計算を通して，組合せの数を正しく計算できるかをみた。 (3) 係数の比と1の大小を調べることにより，数列の増加減少を把握し，係数が最大になる $n$ を正しく求められるかをみた。
III 一群・二群共通	(解答例) (ア) 0, 4 (イ) 5 (ウ) $\frac{31}{120}$	穴埋め問題であるので，結論のみで評価した。

	出題の意図または解答例	評価ポイント
IV 一群	<p>(出題の意図)</p> <p>微分法および不等式に関する基礎的能力および応用力をみる。</p> <p>※本問題では、結論に至る過程や途中計算を書く必要がある。結論が合っているでも思考過程や途中計算が正しいと判断できない場合、正解としないことがある。</p>	<p>(1) 放物線上の点での接線の方程式を求めることなどにより、問題文にある各点の座標を正しく導出できるかをみた。その結果をもとに、台形の面積を求められるかをみた。</p> <p>(2) 相加平均と相乗平均の大小関係を用いるなどにより、正しく最小値を求められるかをみた。</p>
V 二群	<p>(出題の意図)</p> <p>微分積分法に関する基礎的能力および応用力をみる。</p> <p>※本問題では、結論に至る過程や途中計算を書く必要がある。結論が合っているでも思考過程や途中計算が正しいと判断できない場合、正解としないことがある。</p>	<p>求める曲線の長さを積分で正しく表すことができるかをみた。また、その積分の計算を通じて、微分積分を正しく計算できるかをみた。</p>